



アクティブゾーン21

ヒトとモノ、自然と調和した
「夢のクルマ」をめざして。
ユーザーに密着した
研究・開発を実現する
ハイテク研究棟。

研究所紹介

次世代の自動車計測ラボ
アクティブゾーン21
株式会社堀場製作所

実路走行への限りない接近

ハイウェイをグングン走る、渋滞道路をノロノロ走る、坂道を蛇行して走るなど、クルマの走行状態はさまざま。しかも車種や重量、季節によって大きく変化する。高性能、無公害、省エネ、快適な走行性など、クルマへの要求がますます高くなるなか、自動車メーカーや関連業界は、こうしたあらゆる走行状態を想定し、自動車排ガスをテストしている。

この道路走行に極めて近い状態をつくりだす装置が、「シャシダインモーター」。ローラーの上に自動車をのせ、ローラーを駆動させてさまざまな走行状態を再現するこの装置と自動運転ロボットによって、テストドライバーの癖などが測定結果に与えていた悪影響を解消、苛酷な条件下でのテストも可能という画期的なものである。

アクティブゾーン21には、4WD専用シャシダインモーター、1軸型シャシダインモーター、ECエンジンダイナモーター、DCエンジンダイナモーターの4つのテスト・ラボを設置。これら4つのラボを中心に、製品に内蔵するソフトウェアプログラムを作成する頭脳フロア、大気汚染関係の実験施設や開発部隊など、自動車排ガス分析システムの研究・開発に必要なすべての設備と人材が統合されている。最新鋭の機器と頭脳を結集したこの実験エリアと各自動車メーカーとの協調から、「夢のクルマ」「夢のエンジン」が生まれるのも、そう遠いことではないかもしれない。



走行パターンを自動で行う運転ロボット



自動車排ガス実験設備



自動車排ガス測定装置

■「アクティブゾーン21」への交通案内



住所/京都市南区吉祥院宮の東町2 TEL (075)313-8121

排ガス規制の最先端で世界をリード

世界最大の規模と設備を誇る分析機器総合メーカー堀場製作所。そのユニークで高度な分析技術は常に市場をリードし、基礎研究から組成分析、プロセス管理、品質管理など、多様な製品群を世に送り出している。なかでも、自動車排ガス測定装置は世界市場の80%以上を供給、同社の「MEXA」はいまや自動車排ガス分析の代名詞にもなっている。また、pHメーターは国内市場の60%を占め、大気汚染測定モニタ、水質汚濁測定装置などとともに、地球環境の保全に大きく貢献。一方では、誰もが手軽に使える低価格の分析装置の開発も手がけている。

こうした同社の技術とノウハウをさらに融合させ、多様化・高度化するユーザーニーズにいち早く応えるために設立されたのが、「アクティブゾーン21」。ここには、自動車計測最先端ラボをはじめ、水質・ガス分析計実験室、ソフト開発室、クリーンルームを集約し、専従のスタッフを結束。エネルギーと地球環境問題がクローズアップされるなかで、その期待される役割はますます大きなものになっている。

●「アクティブゾーン21」の概要

- 延床面積 約6500m²
- 建物面積 約1400m²
- 研究所員 約300名
- 設立年月 1991年9月
- 収容機能
- 1階／自動車排ガス実験用シャシダインモ室、自動車性能実験用シャシダインモ室、エンジンドイナモ室など、自動車排ガス関連実験室
- 2階／ガス分析計および電気系実験室
- 3階／開発部門およびスタッフフロア
- 4階／開発部門および実験室
- 5階／ソフトウェア開発フロア

MEMO

京都はいわずと知れた観光資源の宝庫。堀場製作所から歩いて数分の所にも有名な桂離宮がある。ただしここを拝観する場合は3ヶ月前に宮内庁京都事務所に申し込みを

する必要があるので、要注意。他にもも苔寺、広隆寺、金閣寺など周辺には見どころがたくさんある。



金閣寺

研究所のお問い合わせは…(株)堀場製作所・広報室